

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年07月31日

計画の名称	稲枝駅の交通結節点機能の向上による安心で活力あるまちづくり												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	彦根市												
計画の目標	<p>「風格と魅力あるまちを創造する彦根における鉄道駅へのアクセス向上と駅周辺市街地の活性化を推進するまちづくり」計画と連携の上、稲枝駅西口の開設により交通結節点である鉄道駅へのアクセス向上を図るとともに、駅に隣接する駐車場を併設し、交通結節点としての機能を充実することにより、公共交通への乗り換えの円滑化や道路交通網のネットワーク化を推進し、誰もが安心して利用しやすい稲枝駅の整備を図る。</p> <p>日常生活や観光拠点となる鉄道駅周辺市街地の整備を推進し、地域拠点・交通結節点としての機能を高め、駅周辺地域の活性化を図り、全国的に人口が減少している社会状況の中で、駅周辺の人口の増加を維持する。</p> <p>自由通路やアクセス道路の整備およびバリアフリー導線の確保により稲枝駅周辺にある指定避難場所への安全安心な移動を確保する。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,000	A	2,919	B	0	C	81	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2.7	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (当初H25)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	稲枝駅西側の住宅地から改札口までの徒歩による移動時間を9分から2分に短縮する。 稲枝駅の改札口までの徒歩による移動時間を短縮【時間】 9分(H25) 2分(H30末)	9分	2分	2分
2	JR稲枝駅における1日の平均乗客数を2,521人/日平均(H24)から2,546人/日平均(H30)に1%増加 JR稲枝駅における1日の平均乗客数【増加数】 2,521人/日(H23) × +1% = 2,546人/日(H30)	2521人	2538人	2546人
3	駅周辺市街地(稲枝駅を中心に概ね半径500mの範囲)の定住人口を5,084人(H24)から5,135人(H30)に1%増加 駅周辺市街地(JR稲枝駅を中心に概ね半径500mの範囲)の定住人口【増加数】 5,084人/年(H24末) × +1% = 5,135人/年(H30末)	5084人	5124人	5135人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-
湖東定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A全て								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	彦根市	直接	彦根市	S街路	改築	稲枝駅東西線ほか2線	自由通路等0.16km	彦根市						2,712		-	
	A01-002	街路	一般	彦根市	直接	彦根市	S街路	改築	稲枝西口停車場線(第2工区)	バイパス0.16km	彦根市						146		-	
	A01-003	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	改築	稲枝停車場線	駐車場整備	彦根市						61		-	
												小計						2,919		
												合計							2,919	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	街路	一般	彦根市	直接	彦根市	S街路	改築	稲枝駅パークアンドライド駐車場整備事業	駐車場整備	彦根市						81	-		
		稲枝駅東西連絡自由通路および東西駅前広場と稲枝駅パークアンドライド駐車場を一体的に整備することにより交通結節点機能が強化されるとともに駅周辺の交通環境が改善される。																		
											小計						81			
											合計						81			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 都市建設部市街地整備課	事後評価の実施時期 令和元年 5 月
	公表の方法 彦根市のホームページに掲載する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲枝駅西口が開設されたことにより稲枝駅西側地域にお住いの市民の移動円滑化が図れた。 ・ 稲枝駅周辺の市街化区域においては宅地開発が促進された。 ・ 交通結節点施設のバリアフリー化を図ることで、だれもが利用しやすい稲枝駅となり快適性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲枝駅西口へのアクセス道路が整備されることにもない、駅西側周辺における土地利用への関心が高まっている。 ・ 駅前広場が整備されたことにもない送迎車の混雑が緩和された。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画期間内に完了できなかった稲枝駅西口へのアクセス道路や東西駅前駐車場の整備を社会資本総合整備計画「地域の交流と経済活動の活性化を支えるみちづくり」に位置付けて事業を継続し、交通結節点機能の向上を図る。 ・ 稲枝駅の西側に不足する駐輪場を整備する。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	移動時間		
	最終目標値	2分	-----
	最終実績値	2分	
2	乗降客数		
	最終目標値	2546人	・平成28年12月に稲枝駅西口が開設されたことに伴い、駅周辺で宅地開発が進められ、世帯数や乗降客数が増加する傾向にはあるが、更に乗降客数増加の効果が得られるまでには少々時間を要すると考えられる。
	最終実績値	2541人	
3	定住人口		
	最終目標値	5135人	・彦根市の0歳から4歳の人口が減少しており、稲枝駅周辺地域においても少子化が著しく、世帯数は増加しているものの人口が減少する傾向にあり、目標が達成できなかった要因と考えられる。
	最終実績値	4991人	